

ふるさと

山形県寒河江市



<https://www.mapion.co.jp/map/admi06.html> 20240625



名峰 月山（実家の窓から望む）

教師の家庭に生まれ、親戚にも教師が多く

小中高とどこに行っても学内に親戚の教師が・・・

教師以外になりたいなあ・・・と

父：やさしく真面目…エスペラント語を熱心に学び、自ら手作りの
機関紙（ベルダサナトリオ）を発行 家族総出

母：厳しく真面目…病弱な父を支える強さをもつ人

3人きょうだいの長女（妹・弟）

ミス マテマンに抱っこされている幼い頃のわたし



しっかりワカメちゃんカット

学歴

- 1978年 千葉大学 看護学部 入学(4期生)
- 1982年 千葉大学 看護学部 卒業
- 1998年 千葉大学大学院 看護学研究科
小児看護学 修士課程 修了
- 2002年 北里大学大学院 看護学研究科
家族看護学専攻 博士課程 修了



<https://www.n.chiba-u.jp/> 20240625

千葉大学看護学部
(猪鼻キャンパス)

職歴

- 国立小児病院(現:成育医療センター) | 1982年4月
4C病棟(循環器内科・心臓血管外科・ICU併設)
- 藤田保健衛生大学小児病棟 1985年4月~1991年
- 藤田保健衛生大学(現:藤田医科大学)
衛生看護学科 講師 1993年4月
- 名古屋大学医学部保健学科講師, 1999年4月
- 名古屋大学医学部保健学科教授, 2004年4月
- 名古屋大学大学院医学系研究科教授
(大学院講座化) 2012年4月~
- 名古屋大学大学院医学系研究科
総合保健学専攻 包括ケアサイエンス領域看護科学
次世代育成看護学 教授(2020年4月改組による)



<https://www.kitasato-u.ac.jp/nrs/kenkyuka/> 20240625



<https://www.met.nagoya-u.ac.jp/> 20240625

2023年11月現在
299課程

出典：JAMPU
(日本看護系大学
協議会) HPより

戦後の看護学教育

わが国初の大学教育：
1952（昭和27）年
高知女子大学家政学部
看護学科

1975年四大学研究協議会が
教育学部特別教科（看護）
教員養成課程を持つ熊本・
徳島・千葉・弘前の4国立
大学により開催
→1981年日本看護研究学会
設立へ

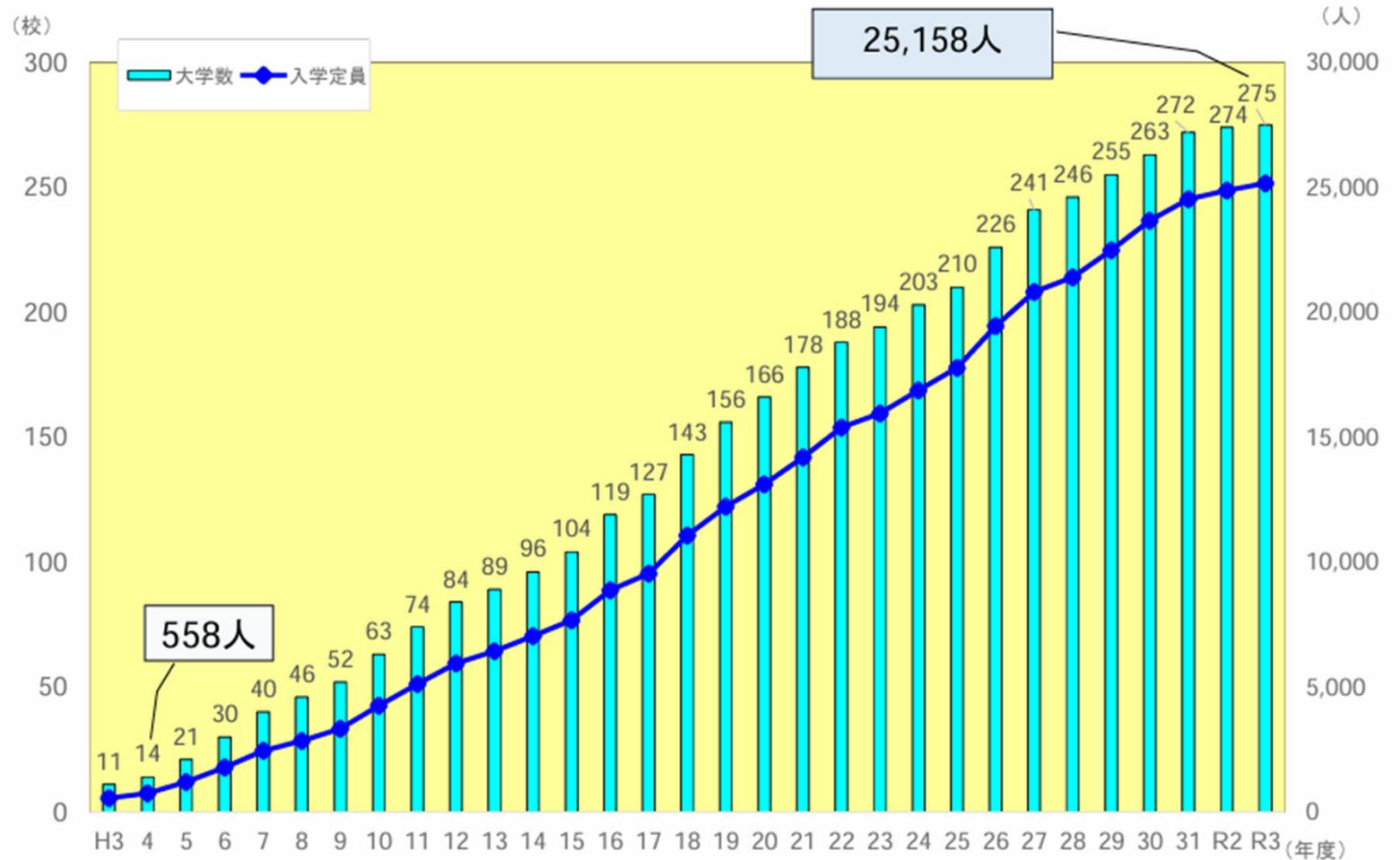
1978（昭和54）年：8校

1991（平成3）年：11校

出典：文部科学省

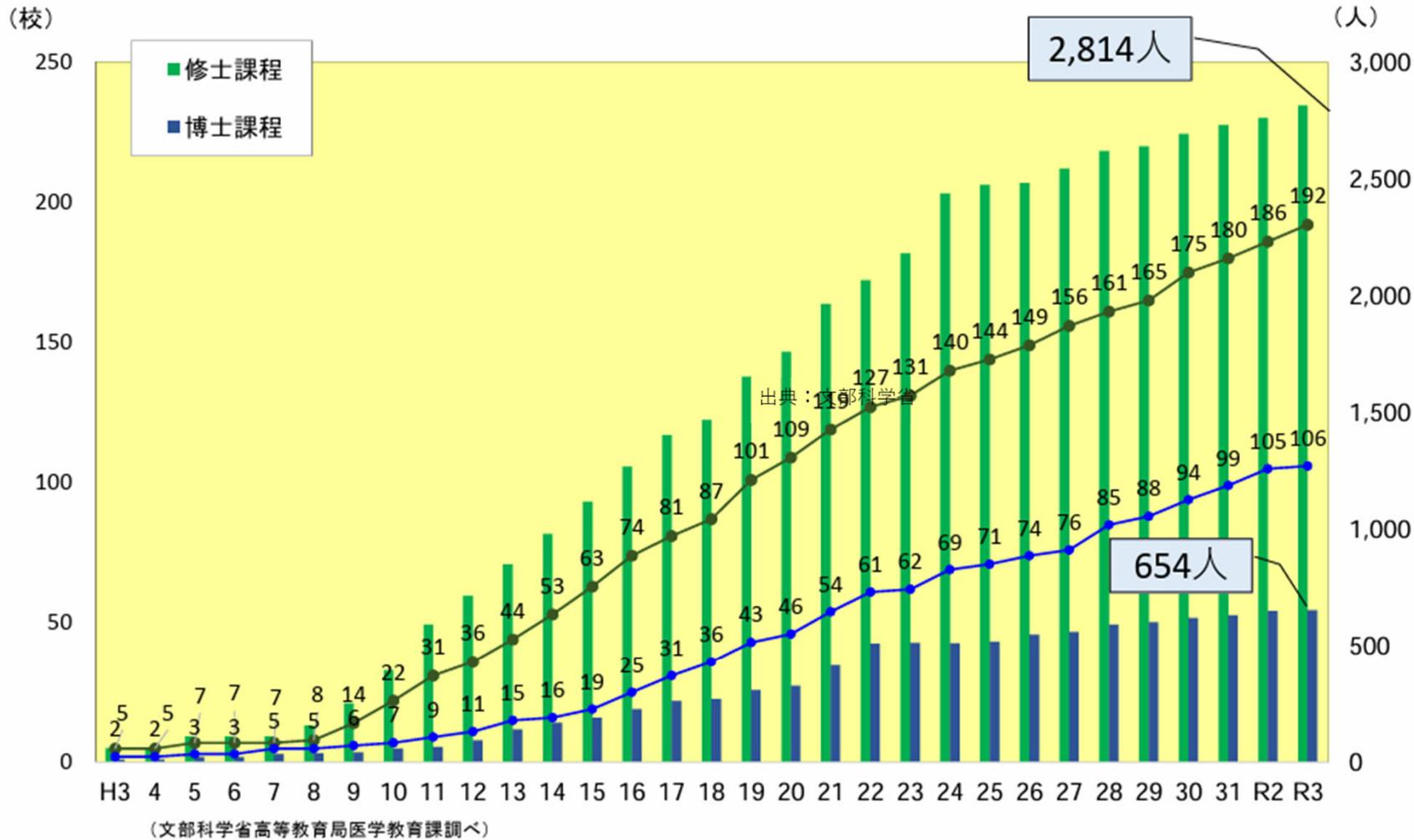
看護系大学数及び入学定員の推移（令和3年度）

2021年度の教育課程数は、275大学、293課程(1大学で複数の教育課程を有する大学がある)



(文部科学省高等教育局医学教育課調べ)

看護系大学院数及び入学定員の推移（令和3年3月現在）



（注）平成16年度以後の修士課程には、専門職大学院1大学院（入学定員40名）を含む。

令和3年現在

学士課程数

- 国立 42大学(42課程)
- 公立 50大学(50課程)
- 私立 183大学(201課程)

★博士課程数

- 国立 博士30大学 32課程
- 公立 博士32大学 35課程
- 私立 博士44大学 47課程

出典：文部科学省

学歴

- 1978年 千葉大学看護学部 入学(4期生)
- 1982年 千葉大学 看護学部 卒業
- 1998年 千葉大学大学院 看護学研究科
小児看護学 修士課程 修了
- 2002年 北里大学大学院 看護学研究科
家族看護学専攻 博士課程 修了

卒業論文：小児看護のカリスマ
吉武香代子先生のご指導

修士論文の指導教員：故 兼松百合子先生
東京大学卒、フルブライトでUCLAへ留学

博士論文の指導教員：森秀子先生
(東京大学卒、ご専門は障害児)、丸光恵先生

職歴

- 国立小児病院(現：成育医療センター) 1982年4月
4C病棟(循環器内科・心臓血管外科・ICU併設)
- 藤田保健衛生大学小児病棟 1985年4月
- 藤田保健衛生大学(現：藤田医科大学)
衛生看護学科 講師 1993年4月
- 名古屋大学医学部保健学科講師, 1999年4月
- 名古屋大学医学部保健学科教授, 2004年4月
- 名古屋大学大学院医学系研究科教授
(大学院講座化) 2012年4月～
- 名古屋大学大学院医学系研究科
総合保健学専攻 包括ケアサイエンス領域看護科学
次世代育成看護学 教授(2020年4月改組による)



<https://www.ncchd.go.jp/> 20240625



<https://hospital.fujita-hu.ac.jp/> 20240625

臨床の頃 国立小児病院4C病棟



国立小児病院のユニフォームは淡いピンク色
また、ナースキャップをかぶっていた時代です!



名古屋大学医学部保健学科 小児看護学

初代石黒彩子教授 現：次世代育成看護学（小児）



発行：日本看護医療学会

看護学主任として、本学の看護学を牽引
日本看護医療学会を創設され、
初代 理事長 として紀要ではなく
学術誌の発行に尽力された。

科研基盤(A)代表石黒先生の分担研究者として
JSCA-QOL尺度を開発し、「小児気管支喘息治療・
管理ガイドライン2008」から収載されました！

名古屋大学医学部保健学科
小児看護学チーム

すべての子どもたちに
愛と未来を。

24時間365日 子どもたちに寄り添う乳児院

研究チームだからこそ役に立てることがある。

どうか応援をお願いいたします！

<https://camp-fire.jp/projects/625621/activities> 20240625

野々山先生が中心になって、クラファン！

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

日本家族看護学会第27回学術集会(WEB)

会長講演

未来をひらく

名古屋大学大学院医学系研究科

総合保健学専攻 次世代育成看護学

教授 浅野みどり



日本家族看護学会第27回学術集会

未来をひらく



未来をひらく



- 2年前・・・

2020年に新型コロナウイルス感染症が
猛威を振るうこと、パンデミックが発生することは
予想だにしていなかった!

- 我が国は、超少子高齢化により
“人口自然減少が、年間約50万人という時代”
に入ったことを鑑みて、「未来をひらく」をテーマ
と決めていた。

未来をひらく

- ・グローバル化、あるいはIT化やSNSの時代だからこそ(?)の新たなつながり方、コミュニティのあり方、取り組み、アイデアも若い世代を中心に発信されつつある。



「家族全体のウェルビーイング」を目指し、
よりフレキシブルに、よりポジティブに
家族看護の力を発揮し、未来をひらくこと
を考える機会となることを願って!



新型コロナウイルス感染症の感染拡大 という 未曾有の事態は…



- 家族に「面会」や「看取り」すら叶わず…
家族の喪の仕事にも甚大な影響を及ぼした!
- 結果的に家族看護の重要性がクローズアップ?
培われてきた家族看護の知を集積・可視化し、
家族全体のウェルビーイングに向け、家族看護の
力で、未来をひらくことにつなげられるか?!

何を経験してきたのだろうか？

- 子どもと家族との臨床経験の中で気になってきたことや気づき、そして、私自身の子育ての経験が取り組んできた研究テーマの根底にある。
研究テーマのコアとなっている。
- その子なりの健康や健やかな成長発達、安心・安全を守ることを出発点に、
“家族全体のWell-being”を維持・促進するにはどうしたらよいのだろうか？”

何を経験してきたのだろうか？

- 虐待死事例の子どもの解剖を多く手掛けてきた法医学者のことば…
- 「(保健師・看護師など)プロフェッショナルとして、同じような事例を繰り返してはならない。それでは、プロフェッショナルと言えない。」
 - ➡ 深く印象に残った…
 - “プロフェッショナルとして恥ずかしくない仕事がしたい”

何を経験してきたのだろうか？

- 修士課程：故兼松百合子先生のご指導の下

アトピー性皮膚炎の乳幼児をもつ母親の育児困難感と支援に関する研究 ➡ 臨床経験の中で…

育児困難感≠疾患重症度なのはなぜか？
家族全体のQOLを高める看護とは？”

- 博士課程：森 秀子先生のご指導の下

FriedmanのFamily Nursingをテキストとして学び、第1次予防の重要性に深く共感した。また、L.WrightのBeliefs から、家族の信念や価値観の重要性を再認識

何を経験してきたのだろうか？

- 修士課程：故兼松百合子先生のご指導の下

子どもが笑顔で育つために
“家族のWell-being”
をめざした看護の探求

「家族の強み」の概念を導入した尺度の開発に
関する研究 -難治性てんかんの子どもを
養育する家族における検討-

育見困難感と

なぜか？
とは？”

として学び、
.Wrightの
性を再認識

忘れられない家族の言葉

私は家族をすてたんですよね!



忘れられない家族の言葉

私は家族をすてたんですよね!

きょうだい児はふたりとも
思春期に問題行動が表面化してきました

何年もの長期にわたって、家と病棟を毎朝晩往復して
人工呼吸器をつけた進行性の神経疾患のお子さんに
付き添ってこられたお母さまのことばです…



忘れられない家族の言葉

インタビューの会話の中で...

そういえば、
(この子の障害について)
夫はどう思ってるんだろう？
さっそく今度聴いてみよう！



忘れられない家族の言葉

(重症心身障害児のあるお母さま)
この子にとっての自立は、
家族以外の人から(の食事介助でも)
食事ができることなんだと思ってる。



忘れられない家族の言葉

ママたちのケアは、
だれがしてくれるんでしょうね？



そもそも…

“患者と家族全体を支援したい”
看護職の思いが伝わっていない??

- 観察スキルと感受性?
- アセスメントスキル?
- 実行力・表現力?
- 対話のスキル?
- アピール力?
- チームにおける発言力・決定権?
- リフレクションスキル・その機会?



家族ケアを妨げるもの

Nsが家族をどうとらえるか？

権威主義 vs パートナーシップ

【細かい家族】【監視している家族】【ケア治療に介入する家族】

家族の情緒的仕事, 法的管理的仕事, 重要な事柄の決断 etc.
家族が遂行している「仕事」を“専門的なテリトリーに侵入する”
と捉えている ➡ **コンフリクト** が生じやすい

…看護者の成熟度、資質、ものの見方と関連

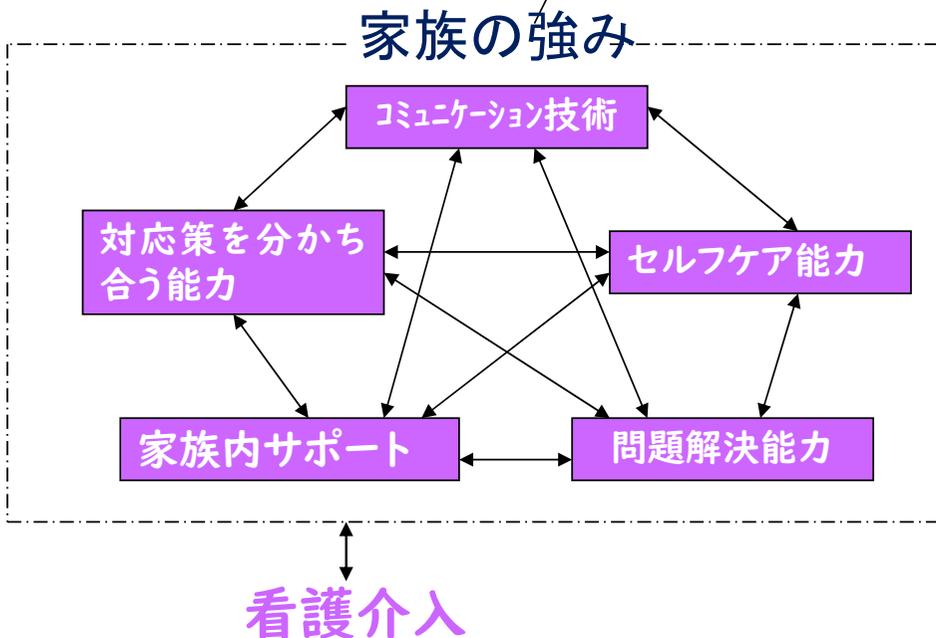
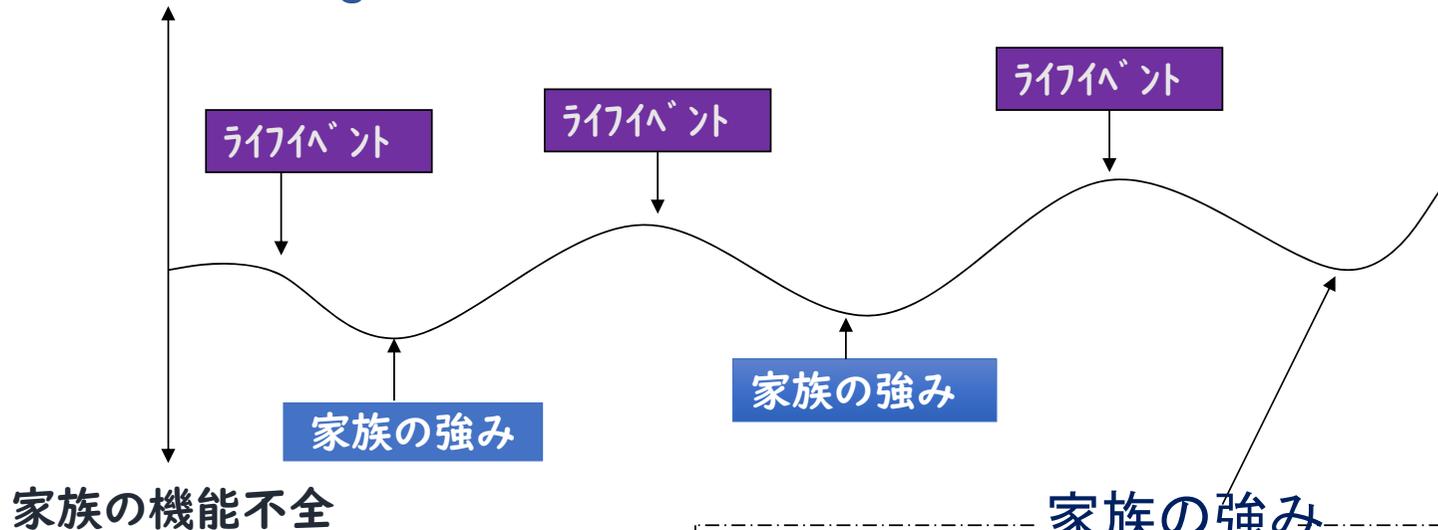
背景要因

- 家族ケアは看護業務ではないという職場の雰囲気
- 仲間からのサポートがない状況
- 看護管理体制； 支援体制, tool(記録用紙)不備

発達障害児を育てる家族の家族プロセス仮説

浅野, 2004

家族のWell-being



浅野みどり、「家族の強み」に着目した難治性てんかんの子どもをもつ家族への支援の可能性.
生活指導研究 No.21,82-100, 2004

家族全体のWell-being



家族全体のウェルビーイングを促進する支援の探求

- 拗れてしまってから…困難化してからでは遅い!
- 患者も家族も医療者にとっても、時間ばかりかかり疲弊する
- だからこそ予防、予防的育児支援、家族の価値観の尊重
= **急がば回れ!**
- 家族の価値観を尊重する具現化の試みの一つとして
「**家族の価値カード**」を用いたリフレクション
- 自らの「家族の価値観(感)」に気づき、言語化を助ける機会

「家族の価値カード」とは



- 米国で開発され、家族にまつわる価値観をさまざまに表現した30数枚のカード例)「家族で一緒に食事をする」「家庭に笑いがある」「子どもを愛する」…
 - 大切であると思うものを5枚程度選び、ホワイトボードに自由に配置する。
 - メンバーに選んだ理由や背景、自身の気持ちを自由に語り、紹介してもらう。
 - ASD(Autism disorder spectrum)の子どもの母親支援プログラムの一環として用いた。「家族の価値カード」を発端に、参加者相互の会話の力によって「新しい自己」を生み出す役割を果たす可能性を見出してきた¹⁾。
- ⇒ 日本版の検討、使用方法・場面を提案する活用ガイドの作成

1) 門間晶子、浅野みどり他 (2014) . 「家族の価値カード」から生まれるナラティブ・コミュニティ. 日本看護研究学会雑誌, 37(1), 105-113





家族全体のWell-being

家族全体のウェルビーイングを促進する支援の探求

- 拗れてしまってから…困難化してからでは遅い!
- 患者も家族も支援者にとっても、時間ばかりかかり疲弊する
- だからこそ予防、予防的育児支援、家族の価値観の尊重
= **急がば回れ!**
- 家族の価値観を尊重する具現化の試みの一つとして
「家族の価値カード」を用いたリフレクション
- 自らの「家族の価値観(感)」に気づき、言語化を助ける機会
- **子ども(みんな)の笑顔のために…家族のもつ力を信じ、共に未来をひらくことをめざしたい**

学内認定 トータルヘルスプランナー (THP) 養成コース



特色② 系統的な段階的教育プロセス

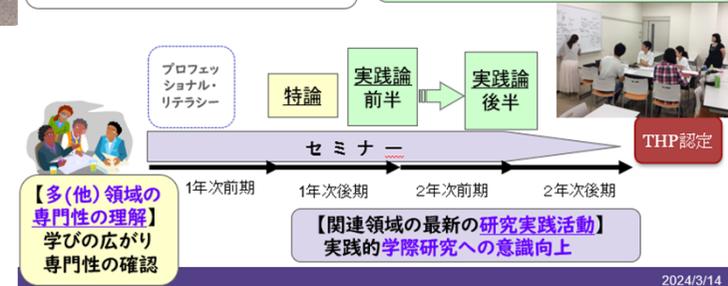
【トータルヘルスプランナー (THP) 履修要件】

◎THP特論+◎THP実践論+◇印の科目から3科目= 合計 10単位

【THPとしての基礎知識】
科学的情報収集・分析能力、倫理観
保健医療政策の理解と課題

【THPとしての実践能力】 保健医療政策、
コミュニケーションスキル、コンサルテーション、
リーダーシップ、多職種模擬カンファレンス

2007年度 (H19) 採択
大学院教育改革支援プログラム
「専攻横断型の包括的保健医療職の育成」



2015



Nagoya-Yonsei University Research Exchange Meeting on Health Sciences

2016



Yonsei-Nagoya University Research Exchange Meeting on Health Science

2015



↑
最新2023→





W (Women x Well-Being)の
チカラが明日を変える

ウェルビーイング
in アジア
実現のための
女性リーダー
育成プログラム



Message 次代を担う女性リーダーたちへ。女性教員からのメッセージ



国際開発研究科
岡田亜弥 教授

アジアの人々と共にウェルビーイングの
実現をめざす女性リーダーに!

21世紀はアジアの時代。ダイナミックに変化し続けるアジアでは、急速な経済発展を遂げる国・地域がある一方、人々がウェルビーイングを実現するには、貧困・教育・健康・環境問題など多くの課題が存在します。これら課題の解決には女性の力が不可欠。国際的視野、実践力、衝動力を身につけ、文化的多様性を尊重しつつ、アジアの人々と共にグローバル課題の解決に取り組むプロフェッショナル、そんな未来の女性リーダーを応援します。



教育発達科学研究科
服部美奈 教授

アジアの人々とともに「人」にやさしい社会をめざして

世界には解決すべき課題が山積していますが、それらを解決するために最も必要とされるのは「人」の力です。高度な専門性を持ちながら、アジアの人々と協働して未解決の課題を解決してゆくことのできる柔軟性と共感性を兼ね備えた人材が求められています。多様な歴史や文化をもつアジアはとて魅力的な地域です。エネルギーで豊穡なアジアと真摯に向き合いながら自分を観え、貢献できる何かをみつめてみませんか。



生命農学研究科
東村博子 教授

貴女の活躍が、日本を変え、世界を変える!

若いときの異文化体験は、あなたに使命感をもたせ、世界での立ち位置を教えてくれます。農学は世界を平和にするための学問です。世界から貧困や飢餓をなくし、豊かな環境を守るために、農学が果たす役割はとて大きいのです。このプログラムでは、異文化交流、異分野融合によって、日本を変え、世界を変えることができる女性リーダーの育成を目指します。いま、アジアとのパートナーシップを創り、強い使命感と確かなビジョンと行動力をもつ女性リーダーが求められています。ともにアジアにおけるウェルビーイングの実現を目指しましょう。



医学系研究科
寺崎浩子 教授

アジアの人々と つ・な・が・ろ・う

女子学生の皆さん、最近の科学技術の進歩は、とどまることを知りません。情報は早く駆け巡り世界は一つになりつつあります。しかし、アジアの国々にはまだまだ多くの課題点を抱えている国があります。一方、日本では、科学の進歩にもかかわらず、まだまだ、リーダーとなる女性は多いとは言えません。我々女性教員と一緒に学び、体験し、アジアのリーダー、ひいては世界のリーダーを目指してみませんか?



医学系研究科
浅野みどり 教授

あなたは、子どもの貧困率を知っていますか?

すべてのアジアの子どもの笑顔をめざして、あなたの可能性を活かしましょう!

日本の子どもの貧困率は、09年15.7%、3年間で1.5point上昇、相対的貧困率(ユニセフまとめ)は35カ国中9番目と高水準です。子どもの笑顔は家庭・地域社会・文化/価値観を無視しては実現できません。多様なアジア文化を尊重し、俯瞰的視野と女性の柔軟性を活かしたリーダーシップの発揮を期待します。



男女共同参画室
桐原千鶴 准教授

世界はあなたを待っています!

あなたは、大学院での「学び」を、将来役に立てようと考えていますか。明治の初め、海外に留学したある若者は、「自分が一日休むと、日本が一日遅れる」と言ったそうです。現代では、ちょっと想像がつかないほどの使命感ですね。けれど、21世紀のいまも、若いあなたの「学び」が、明日の世界をかえることは可能です。いまを生きる世界中の人々がより良くなるために、世界は(あなたの挑戦)を待っています!

名古屋大学大学院 博士課程教育リーディングプログラム 複合領域型
「ウェルビーイングinアジア」実現のための女性リーダー育成プログラム
HP: <http://www.well-being.provost.nagoya-u.ac.jp>
E-Mail: well-being@well-being.provost.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学大学院医学系研究科・医学部保健学科
T461-8673 名古屋市東区大幸南一丁目1番20号



名古屋大学大学院 博士課程教育リーディングプログラム 複合領域型

「ウェルビーイングinアジア」
実現のための女性リーダー育成プログラム

女性リーダーの活躍が、日本を、世界を変える

健康で平和な社会を目指すこと、
それがウェルビーイング。
保健学だけでは解決できない課題も、
研究領域を越えた連携で、新たな可能性にアプローチ。
成長目覚ましいアジアをフィールドに、
実践力を重視したプログラムを展開し、
グローバルに活躍する女性リーダーを育成します。
名古屋大学から世界へ。
輝かしい未来の創造に向け、一緒に走り出しましょう。

名古屋大学大学院医学系研究科
(保健学)

NAGOYA UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE
(Health Sciences)





「ウェルビーイングinアジア」実現に向けた 女性リーダー育成プログラム

プログラムの目的：

- **アジアのウェルビーイング**（個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること）の実現に資するグローバルに活躍する**女性リーダー**の養成
- **男女共同参画**の重要性を認識し、実践していける男性リーダーを育成
- 高度な専門性、俯瞰的視野および国際性を養う（6部局融合による教育）

6つのコア能力

ジェンダー理解力

発信力

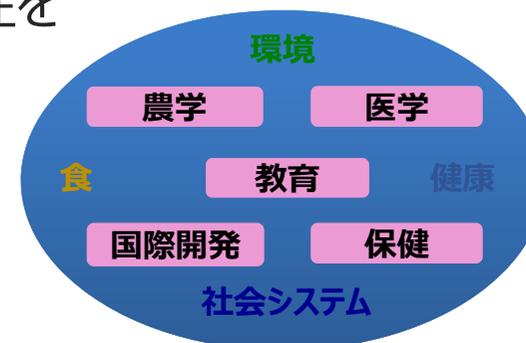
俯瞰力

企画力

実践力

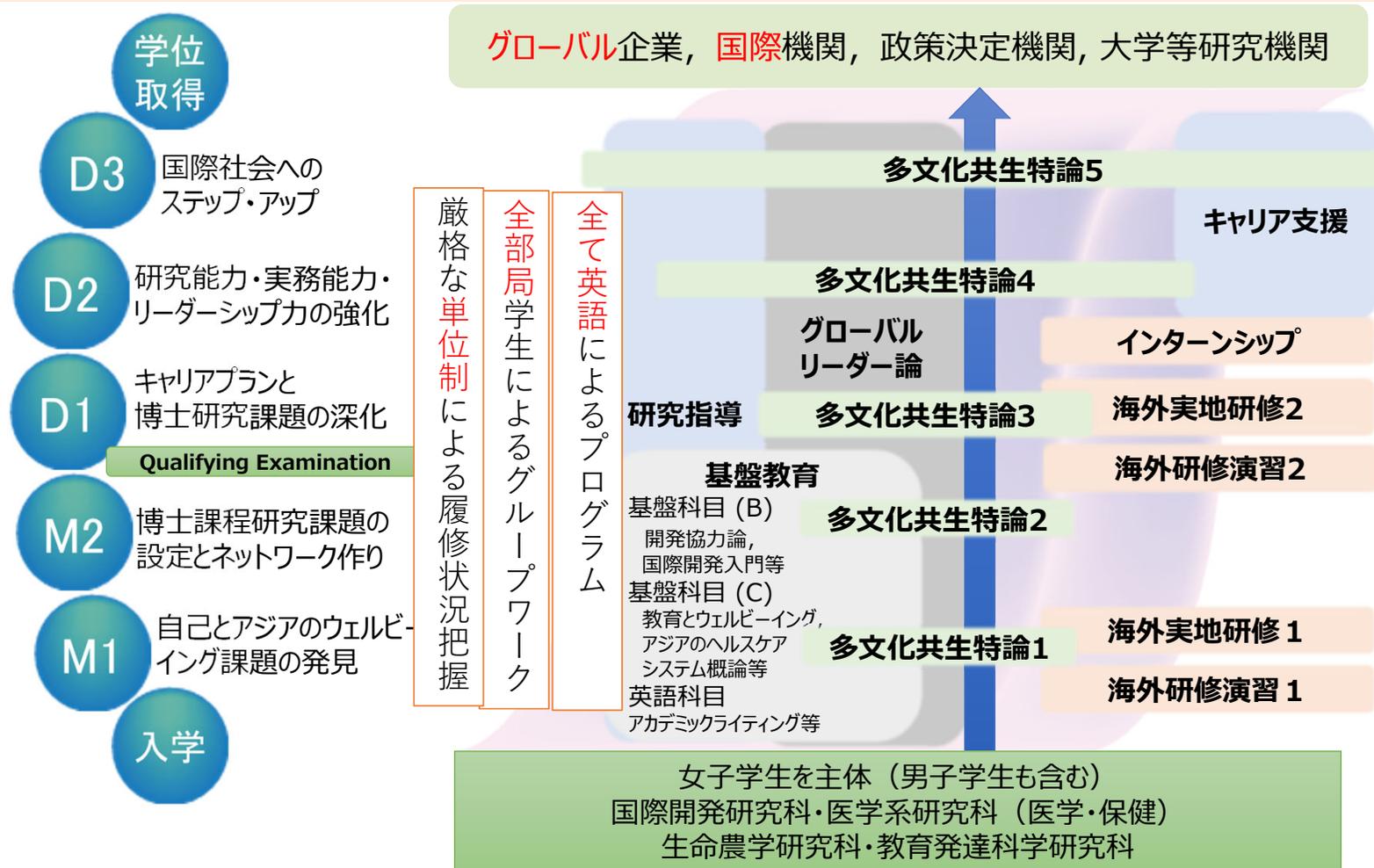
現場力

国際開発研究科	医学系研究科（医学・保健）
生命農学研究科	教育発達科学研究科
農学国際教育研究センター	男女共同参画センター





学生をグローバルに活躍するリーダーへと導く一貫した学位プログラムと履修生の活躍が期待される分野



質問4. 支援期間終了後に、本プログラムを維持するための運営組織及び人員体制（エフォート含む）



プログラムの内製化

支援終了後のプログラム実施体制

本プログラムの
継続実施体制

代表者
総長
松尾清一



責任者
理事
副総長
医学系研究科教授
高橋雅英



コーディネーター
副理事
男女共同参画センター
センター長
生命農学研究科教授
束村博子
エフォート15%



執行委員会:各エフォート5-20%

アドミッション・リクルートWG：服部
カリキュラムWG：浅野
海外実地研修WG：山内
国際連携WG：岡田
CCT WG：榎原
管理運営WG：門松
広報WG：香川

特任教員：1名
事務補佐員：2名
技術員：1名

協力教員：35名
各エフォート5-10%
(内製化した特任5名を含む)

2020年度予算内訳 (総長裁量経費800万円+基金200万)

人件費：事務補佐員2名/年、特任教員1名、技術員1名
内製化された元特任教員 (生命農2名、保健1名、医学2名)
カリキュラム：グローバルリーダー論
Cross Cultural Talk
海外実地研修
経済支援：TA/RA経費

国際開発研究科
元副理事
教授
岡田亜弥
国際連携



教育発達科学研究科
教授
服部美奈
アドミッション
リクルート



生命農学研究科
研究科長
教授
高井次郎
管理運営



理学系研究科
理事
教授
川北一人
カリキュラム



医学系研究科 (医学)
研究科長
教授
門松健治
管理運営



医学系研究科 (保健)
教授
寺崎浩子
アドミッション
リクルート



男女共同参画センター 農学国際教育研究センター
総長補佐
教授
浅野みどり
カリキュラム



前センター長
生命農学研究科
副研究科長
山内章
海外実地研修



教授
榎原千鶴
企画評価





Well-being
Programの
ひとコマ



WB_保健メンバーはチームワーク抜群!



WBスタートの特別講演会 in 大幸キャンパス



ミャンマーの孤児院で子どもたちと交流



ウェルビーイングプログラムで訪れた東南アジア諸国
フィリピン・タイ・ベトナム・ミャンマー

なかでも、ミャンマーに魅了され
何度も渡航!

その後のクーデターに
心が痛みます...



Shwedagon Pagoda



WB_保健メンバーの広報写真



ミャンマーの寺子屋で 学校保健活動!!

身長・体重測定
歯科検診&健康教育



芝 増上寺
ミャンマー祭り
2018
日本&ミャンマー
交流写真展での
入賞作品 →



2024/03/17 Reflections on the Well-being Program



門松先生、高橋先生、東村先生、浅野



<https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/20240625>



HeForShe Champions IMPACT Lab

Georgetown University | Washington, D.C.
21st – 25th October 2019

Key Actions and Outcomes



Parisにて

ワシントンD.C. ジョージタウン大学にて



2019.05.14 【映画『女を修理する男 (THE MAN WHO MENDS WOMEN)』
上映会 @大幸キャンパス】

2018年にノーベル平和賞を受賞したコンゴ人婦人科医、デニ・ムクウェゲ医師の命がけの治療を追ったドキュメンタリーの上映会を開催いたします！

前回東山キャンパスで好評だった上映会、大幸キャンパスで行います。

【日時および場所】

上映：2019年5月22日（水）18:15-20:15

会場：大幸キャンパス 本館2階 第2講義室

対象：名古屋大学の学生・教職員ならどなたでも

言語：フランス語：日本語字幕

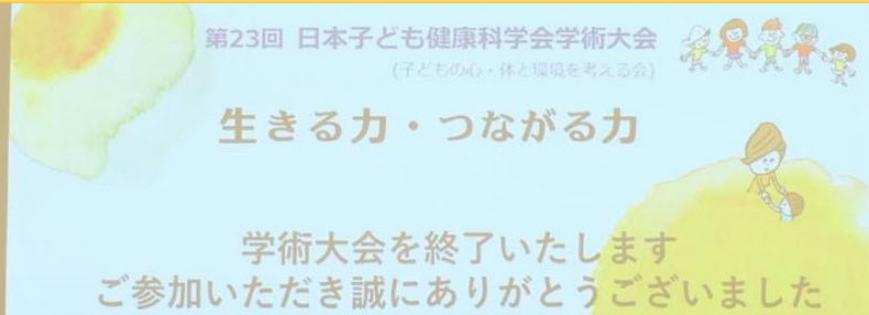
参加費：無料

申し込み：不要

総長補佐
(研究推進・HeForShe担当)

コロナ禍に2つの学術集会の大会長を拝命することになり… 小児看護学の教員,院生,修了生,学部ゼミ生&名大病院の方々のパワー集結!

第23回日本子ども健康科学学会 学術大会 ハイブリッド開催(大幸キャンパス)



大幸キャンパスから
ハイブリッドで配信!

Comparing Parenting Stress among Child-Rearing Families Based on Child Characteristics: A Longitudinal Study

Background 1

- Japan has experienced a prolonged period of low birth rates despite the government's implementation of various measures to counter this.
- Number of birth per year
1,180,000(2000) → 771,000(2022) **-35%**
- Total Fertility Rate **1.26(2022)**
- Recent concerns have emerged on the effect of reduced social interactions among parents during the COVID-19 pandemic on child-rearing families.

Fig. Changes in the number of births and total fertility rate in Japan

資料：2019年までは厚生労働省政策経路推計管理人口動態・保健社会統計室「人口動態」(2019年は概数)、2040年の出生数は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成30年版)」における出生中位・死亡中位仮定による推計値。

Japan Minister of Health, Labour and Welfare



<https://www.eafons-2024.hku.hk/> 20240625

香港大学にて
2024/03/07

新型コロナパンデミック後
数年ぶりの海外渡航



日本学術会議 公開シンポジウム

【開催趣旨】これまで様々な子育て支援が行われているが、子どもを育てる親のストレスは軽減することなく、虐待や少子化等の問題は依然として深刻である。

支援の対象が要支援家庭に偏っていること、すべての家庭を対象に実施される乳児家庭全戸訪問は生後4か月までと期限が限られていること等にみられるように、日本のこれまでの子育て支援は子育て中のすべての家庭のウェルビーイングを視野に入れたものになっていない。また、多くの人にとって学校教育終了後に子育てに関する教育をうける機会も限定的である。本シンポジウムでは、より良い子育て環境の実現のために、包括的で継続性のある子育て支援という新しい視点の導入を、子育て支援、小児看護学、家庭科教育、児童学の専門家とともに議論する。

主催：日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会
後援：日本生命科学アカデミー

----- PROGRAM -----

司会	鈴木恵美子（日本学術会議連携会員、お茶の水女子大学名誉教授）
13:30	開会挨拶
	多屋淑子（日本学術会議連携会員、日本女子大学名誉教授）
13:40	開催趣旨説明
	守随 香（日本学術会議連携会員、公立女子大学家政学部教授）
14:00	『子育て支援事業の最前線からみえるもの —繋がりとぬくもりの不足—』
	新澤拓治（社会福祉法人雲柱社 子育て支援コーディネーター）
14:25	『子育て期の家族のウェルビーイング—予防的子育て支援の重要性—』
	浅野みどり（日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻教授）
14:50	『すべての人が子育て力をもつために—生涯教育からの提案—』
	工藤由貴子（日本学術会議連携会員、和洋女子大学総合研究機構 家庭科教育研究所特別研究員）
15:15	『子どもの育ちに還元される子育て支援』
	田代和美（和洋女子大学人文学部教授）
15:40	休憩
15:50	全体討議
16:30	閉会挨拶
	都築和代（日本学術会議連携会員、関西大学環境都市工学部教授）

2/24(金)2023年 13:30-16:40

会場：日本学術会議 講堂(ハイブリッド開催)

東京都港区六本木7-22-34(千代田線・乃木坂駅下車)

または オンライン開催

参加申し込み：2月17日(金)までに、下記URL
もしくは右のQRコードからお申し込みください。
(申込後確認メールが届きます。)
<https://forms.gle/FBQVqBMJ7Dkf3uxN8>



開会合わせ： 公立女子大学家政学部 守随 香

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2023/336-s-0224.html> 20240625

子育て支援の継続性を高めるために
—新たな視点の提案—

日本学術会議 連携会員 (第2部 健康・生活科学委員会)

【現在の所属委員会】

- ・健康・生活科学委員会
ヘルスケア人材共創に向けた看護学分科会
- ・健康・生活科学委員会・臨床医学委員会合同
生活習慣病対策分科会
- ・土木工学・建築学委員会・心理学・教育学委員会・
臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
子どもの成育環境分科会

📩 家政学分科会から声をかけていただき
シンポジストとして参加

主な獲得研究費：科学研究費補助金 等

- 養育期家族のウェルビーイングに向けた予防的育児支援～効果的家族支援の探求，基盤研究(B)，2020年04月～2024年03月 (研究代表者)
- 納得の医療のためのSDMに基づく小児アレルギー看護ガイドラインの開発，基盤研究(B)，2013年04月～2016年03月 (研究代表者)
- 発達障害の幼児を育てる家族への予防的育児支援プログラムの介入効果の検証，基盤(C)，2009年04月～2011年03月 (研究代表者)
- 広汎性発達障害の子どもを養育する家族の家族プロセスとQOLに関する研究，基盤研究(C)，2006年04月～2009年03月 (研究代表者)
- 慢性疾患や障害をもつ子どもを抱える家族の「家族健康モデル」に関する研究，萌芽12877392，2000年04月～2002年03月 (研究代表者)
- 喘息学童のQOL評価とQOL低下要因の検討(QOL評価票を用いた全国調査)，基盤研究(A)(2)，研究代表者 石黒彩子，2002年04月～2005年03月 (研究分担者)
- 食物アレルギーをもつ学童の適応的な学校生活に向けた協働モデルの構築，基盤研究(C)，研究代表者：山田知子，2013年04月～2016年03月 (研究分担者)
- 子ども虐待防止へのオープンダイアログの有効性を測る，基盤研究(C)，研究代表者：門間晶子，2016年04月～2020年3月(研究分担者)
- 継続的な子育て支援を実現する『対話的子育て支援のための心構えガイド』の充実，基盤(C)，研究代表者：山本真実，2022年04月～2025年03月 (研究分担者)

その他、研究分担は多数

- 文部科学省「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ(特色型)」
名古屋大学 平成29年度 女性研究者トップリーダー顕彰

名古屋大学大学院医学系研究科 次世代育成看護学(小児看護)

【博士後期課程 修了生】

大村(山田)知子:中部大学教授
門間晶子:名古屋市立大学教授
古澤亜矢子:日本福祉大学教授
大橋幸美:日本福祉大学教授
影山葉子:浜松医科大学准教授
山本真実:浜松医科大学准教授
山口知香枝:金城学院大学教授
畑中めぐみ:愛知こどもホスピスproject代表
河村江里子:一宮研伸大学講師
小野里衣(12月学位取得育児奮闘中)
【満期退学者(予定を含む)】
石井真(中部大学准教授)
杉村篤士(東海大学)
大村政生(修文大学)
清水いづみ(愛知県立大学)
坪之内千鶴(日本福祉大学)

【博士前期課程(修士)修了者】

2003、2004 尾関唯未、小林(米山)加奈、
2005 神道那美、石井真、2006 渡邊(衣斐)
春香、2007 佐合真紀、古田恵香、2009 赤松
(森)園子、小林(山北)奈央子、加藤勝子、
2011 森阿紀子(CNS)、2013 浅井佳士
(CNS)、2015 清水いづみ、2016 広瀬知美
(CNS)、2017 柏勇治
(CNS)、河村江里子、
2018 小野里衣、小林優香
川路美沙子(CNS)、
2019 堀田ひとみ(CNS)
2020 野々山友、
2021 寺西菜菜、荒木理沙
金子太郎、楨下朱音、
2023 加藤晶子



2011年度～2021年度 小児専門看護師(CNS)コースを開設

名古屋大学では様々な経験をさせていただきました。
たくさんの先生方、大学院生、卒論生のみなさんと共に、みなさんや家族にも支えられながら、定年退職を迎えられますことをたいへんありがたく存じます。

本日は大幸キャンパスまでお運びいただき、ご清聴いただきましてありがとうございました。

